



第107号

石川県生活協同組合連合会
 〒920-0362 金沢市古府2-189
 コープいしかわ古府センター2F
 TEL.076-259-5962 FAX.076-259-5963
 http://ishikenren.jp

発行日/2023年3月25日
 発行責任者/長谷川 隆史



石川県の共生社会づくりの取り組みについて説明される森主任主事

めましました。相互理解を深

れぞれ報告いただき、

り組みについてその

生社会づくりの取

いしかわから共

沢医療生協、コ

北陸事業連合、金

について、コープ

の共生社会づく

社課からは石川

いて、障害保健福

生活安全課からは指導検査につ



挨拶をされる吉中課長

石川県との懇談会を3年ぶりに

参集型で開催し、「共生社会づく

りの取り組み」をテーマに懇談し

ました。

生協の窓口である生活安全課か

ら吉中課長、澤田消費生活グルー

プリーダー、山口専門員の3名、

健康福祉部障害保健福祉課から森

主任主事にご出席いただき、生協

から県連役員及び会員生協役員

13名が参加しました。

2022年度

生協連石川県行政懇談会

日時 2023年1月20日(金)

場所 石川県地場産業振興センター研修室及びオンライン

テーマ 「共生社会づくりの取り組み」

行政懇談会に参加して

今回の行政懇談会では、石川

県健康福祉部障害保健福祉課よ

り「共生社会づくりの取り組み、

石川県の施策」をテーマに説明

をいただきました。石川県では、

令和元年10月に「障害のある人

もない人も共にくらしやすい石

川県づくり条例（共生社会づく

り条例）」が施行され、条例で

は「不当な差別的取扱いの禁

止」の義務、「合理的配慮の提

供」の努力義務が事業者だけで

はなく県民も対象となっている

ことを知りました。

「共生社会づくり」の取り組

みを多くの県民に知ってもらう

ことが、みんなで支え合って誰

もが暮らしやすい社会の実現に

つながると思います。

私たち一人ひとりのちよっと

した配慮で、障害のある人が社

会生活上の困難や妨げになっ

ている社会的障壁（バリア）を取

り除くことができるのであれば、

できる配慮から始めたいと感じ

ました。

（石川県共済生協 鶴山 香央里）

第44回 東海北陸生協行政合同会議

●日時 2022年10月7日(金)
●会場 ホテル金沢及びオンライン

第44回東海北陸生協行政合同会議は石川県で開催され「持続可能な地域社会の実現に向けて」をテーマに厚労省、各県行政担当者から10名、日本生協連、東海北陸6県の生協から42名が参加しました。

厚労省より生協の地域社会での活躍を期待する旨挨拶がされ、日本生協連より、「持続可能な社会の実現を目指した全国の生協の社会的な取り組み」について報告がされました。

特別講演では「脱炭素社会に向けて、私たちができること」と題し金沢星稜大学副学長 新広昭氏から「二人ひとりが脱炭素に向けてできる



講演される新副学長

ことに取り組みと同時に、脱炭素への意識を大きな動きへと作り上げていくことが求められている」とご講演いただきました。

続いて各県行政の取り組み報告、コープいしかわの行政と連携した活動「小松市赤ちゃん紙おむつ定期便の取り組み」が報告されました。



小松市との連携した取り組み報告をされるコープいしかわ三宅執行役員

東海北陸生協行政合同会議は東海北陸6県の行政と生協の相互理解を深めることを目的に6県持ち回りで開催しています。

(生協連 加藤 喜美子)

2022年度 会員生協図上型防災訓練開催について

●日時 2022年12月9日(金) 7会員生協参加

2022年度、石川県内において6月には能登地方を中心とした震度6弱の地震、8月には大雨による被害など自然災害が発生しています。こうした中で、12月9日、7会員生協参加による図上型防災訓練を開催しました。

訓練は、会員生協と石川県生協連との間での通信訓練(被害状況や職員の安否確認)及び石川県社会福祉協議会ボランティアセンターの役割と活動について、県内で発生した自然災害の活動事例(珠洲の地震と8月の水害)を報告いただき、被災者支援活動の効果的な連携方法について学びを深めました。

開催後に実施したアンケートで、「自生協の通信機器や通信訓練に関する課題・問題意識」をお聞きしたところ職員の安否確認の方法や所要時間、通信訓練の未実施・通信障害時のEメールでのやりとりに課題があることなどが寄せられました。

通信訓練における伝達ツールや会員生協内での安否確認方法などまだまだ課題は山積していますが、会員生協の事業継続と被災地・被災者支援の両立を基本に訓練を積み重ねていきたいと思えます。

(生協連専務理事 浅田 晋一)



県社会福祉協議会ボランティアセンター所長 天日氏の講演





日本国憲法の持つ力の学習

東京都立大学法学部 木村早太教授を講師にお迎えし、「日本国憲法の持つ力」のちと暮しを守るためにくをテーマにご講演いただきました。会員生協より29名が参加。

改めて憲法とはどういうものかについては、主権の乱用を防ぐためのルールづくりであり、張り紙

生協連第2回役職員研修会

- 日時 2023年1月24日(火)
- 形態 オンライン研修
- テーマ 「日本国憲法の持つ力」のちと暮しを守るためにく



の論理と1947年に制定された日本国憲法の章立てをつなぎ、わかりやすく解説いただきました。

自衛隊と憲法9条、憲法と緊急事態条項の考え方については現在の具体的な国際情勢を踏まえて解説され、憲法と女性の権利については、女性の権利は現憲法で法の下の平等が規定された。夫婦別姓問題、同性婚についてなど、裁判所で人権侵害について争うことが認められている。子どもの権利について、離婚後の共同親権導入の議論が進んでいるが、子どもの利益を最優先に考えるべきであるとお話しいただきました。

(生協連 加藤 喜美子)

生協連第3回役職員研修会

- 日時 2023年3月2日(木)
- 形態 オンライン研修
- テーマ 「ケアラー支援を考える」のちと暮しを守るためにく



講師の中嶋圭子氏

一般社団法人日本ケアラー連盟理事 中嶋 圭子氏を講師にお迎えし、「ケアラー支援について考える」のちと暮しを守るためにくをテーマにご講演いただきました。会員生協より20名が参加。

「ケアラー」及び「ケアラー支援」について、ケアラーへの支援が必要となる社会的背景と必要なケア政策、ヤングケアラー(子ども・若者ケアラー)をめぐる現状と支援の課題、現在の国や自治体の動きについてお話しいただきました。

※ケアラーとは、家族などを無償で介護する人のことをいいます。

参加者アンケートより

○TVCMでヤングケアラーについて知り、心を痛めていたので、今日のお話はとても勉強になりました。私も介護やケアは家族がするものと漠然と思っていたので、行政の支援や情報がもっと多くの人に広げればいいと思いました。一人で思いつめてしまう人が少しでも減り、子どもが子どもらしくいられる時間、子どもらしく過ごせる場所の提供が本当に重要だと感じました。

○ケアラーの現状と課題、これからどうしていかねければならないかを具体的に分かりやすくお話しただき理解を深めることができました。日本ケアラー連盟が目指されている社会が一日も早く実現することを期待しています。



2022年度 協同組合学習交流会

日時 2022年11月14日(月)
 場所 石川県農業会館6階大会議室
 テーマ 協同組合連携について ～ゆるやか、あいのり、やってみる～



学習講演

J A、漁協、森連、生協の4つの協同組合から64名が参加し、協同組合連携をテーマに学習交流会を開催しました。3年ぶりに参集型で開催し、学習講演、各協同組合の実践報告、グループ交流を行いました。

学習講演では「食品ロスと環境問題」について石川県立大学生物資源環境学部講師の楠部孝誠氏より、「石川県内のフードバンク・フードドライブ」についてNPO

協同組合実践報告 テーマ「食育・木育」の取り組み

- JA小松市 総務部組合員相談課 北出 真也
「食育について考える」
- 石川県森林組合連合会 県産材利活用推進室 県産材担当専門員 岡崎 早貴江
「木育への取り組み」
- 生活協同組合コープいしかわ 執行役員 佐々木 智一
「コープトマトチャレンジ」
- 石川県漁業協同組合 かなざわ総合市場総務部企画課 高岩 信広
「漁協の食育」



実践報告

法人いしかわフードバンク・ネット理事 青海万里子氏よりお話いただき、学習を深めました。

協同組合実践報告の後、9グループに分かれ、学習講演や実践報告を聞いての感想や意見、また協同組合が連携して進めたら良いことなどについて交流しました。



グループ交流



グループ発表

最後にJCA横溝部長より今回の学習交流会の講評をいただき、「ゆるやか・あいのり・やってみる」の協同組合間連携のキャッチフレーズが紹介されました。

協同組合学習交流会に参加して

食品ロスと環境問題についての学習講演、4団体の「食育と木育」の取り組みの実践報告をお聞きし、理解を深めました。

その後、グループ交流会が行われ、各グループ内で感想や意見を出し合い、現状の活動方法や今後実現していきたいことなど意見交換をしました。各団体の組織特性に基づいた地域活動や環境への配慮、子どもたちが興味を持って取り組み、学べる体験型の事例のことについてなど他団体の方々と話し合いができました。短い時間の中ではありますが、刺激になりとても貴重な経験を得ることができました。今後、協同組合の連携が強化できるよう私自身も考えていきたいと思えます。

(石川県学校生協 加茂野 琢也)

参加者アンケートからは「協同組合の交流は初めてで、大変有意義な時間となった」「協同組合の共同イベントが開催できれば良い」「活動を継続して推進するための組織やしくみが必要」などの声が聞かれました。

第52回 石川県消費者大会 「衣類ロスを考える」

●日時 2022年11月2日(水)
 ●会場 石川県地場産業振興センター及びオンライン
 ●主催 石川県消費者大会実行委員会



会場へは57名、オンライン利用12名が参加

石川県消費者大会に参加して

講師の仲村先生のお話の中で、ブランド名を守る為に新品在庫の大量廃棄が行われている事や、安い賃金で安価な衣類が大量生産され、これも在庫が大量廃棄になる。そう言うことが当たり前に行われていたと知り、すごく驚きました。

これからは、企業は労働環境や生産量を考える必要があり、私達消費者は自分に必要な物なのかと言う事と、良いものを適正な価格で購入し大切にするという意識を持たなければ、衣類ロスは減らないと思いました。

また、衣類ロスも食品ロスと同じように、必要としている人に届くような取り組みが大切だと思いました。その一つの活動として、制服リユース「リクル」さんの、制服バンク・おさがりといった活動を皆さんに知ってもらいたいと感じました。

(コープいしかわ理事 坂本 典子)

「ファッションと大量廃棄」私たちにできること」をテーマに(株)朝日新聞社・デジタル機動部次長 仲村和代氏よりご講演いただきました。次に県内団体の取り組み報告として①制服を活用した3Rで広がる『おさがりの輪』について、制服リユースNPO制服バンク石川リクル代表 池下奈美氏より②未来のため取り組み「小松マテール」について小松マテール労働組合執行委員長 曾根達也氏よりそれぞれ報告いただきました。

2022年度 フードバンクフォーラム 「食の支援による地域づくり つながりづくり」

●日時 2022年11月29日(火)
 ●会場 石川県地場産業振興センター及びオンライン



講師の幸重忠幸氏

また、(一社)全国フードバンク推進協議会代表理事の米山廣明氏からは「フードバンクへの食品提供に係る税制上の取扱い」についてオンラインで説明していただき、参加した事業者からは「損金算入について理解できた」と好評でした。

(NPO法人いしかわフードバンク・ネット理事 青海 万里子)

コロナ対策のため会場参加とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。当会の活動報告の後、「こどもの貧困と地域のささえあい」と題してNPO法人こどもソーシャルワークセンター理事長の幸重忠幸氏にご講演いただきました。滋賀県での居場所づくりや、生活困窮・ヤングケアラー世帯への配食活動、学校でのフードパントリー事例などをご紹介いただき、参加者からは「子どもたちの実情や様々な支援の仕方を学ぶことができ参考になった」などの感想が寄せられました。



当日はテレビ局の取材も入りました

県生協連活動日誌

- 12 ● 12月 6日 いしかわフードバンク・ネット第3回理事会
▶県社会福祉協議会会議室
- 12月 7日 第3回三役会▶生協連事務所及びWeb会議
- 12月 9日 2022年度生協連図上型防災訓練、講演会
▶Web開催
- 12月 9日 第2回東海北陸県連協議会▶三重県
- 12月13日 協同組合学習交流会第4回準備会▶JA中央会
- 12月15日 労福協第6回理事会
▶ANAクラウンプラザホテル金沢
- 12月21日 石川県ユニセフ協会第2回理事会・第1回評議会
▶石川県地場産業振興センター

- 1 ● 1月 4日 第4回理事会▶Web会議
- 1月 5日 連合石川・労福協合同「2023新春の集い」
▶ANAクラウンプラザホテル金沢
- 1月 5日 年始挨拶回り▶JA中央会、漁協
- 1月 6日 年始挨拶回り▶北陸農政局、金沢市
- 1月10日 年始挨拶回り▶石川県
- 1月11日~12日 全国方針検討集会▶Web会議
- 1月11日 日本生協連賀詞交歓会▶東京
- 1月13日 第3回広報委員会▶Web会議
- 1月18日 第4回石川県消費者大会実行委員会
▶Web会議
- 1月20日 生協連行政懇談会
▶石川県地場産業振興センター
- 1月24日 第2回役員研修会▶Web研修会
- 1月26日 関西地連第4回運営委員会・県連活動推進会議
▶Web会議
- 1月27日 消費者支援ネットワークいしかわ第6回理事会
▶金沢市長土堀青少年センター

- 2 ● 2月 1日 第4回三役会
▶生協連事務所及びWebシステム利用
- 2月 3日 金沢市令和4年度第1回食の安全・安心委員会
▶金沢市保健所
- 2月13日 石川県第2回食品安全安心対策懇話会
▶石川県庁会議室
- 2月15日 第5回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶石川県女性センター
- 2月17日 臨時三役会
▶生協連事務所及びWebシステム利用
- 2月20日 消費者支援ネットワークいしかわ第7回理事会
▶Web会議
- 2月27日 靈感商法等消費者被害防止見守りセミナー
▶石川県地場産業振興センター、ハイブリット開催

- 3 ● 3月 1日 第5回理事会▶生協連事務所及びWeb会議
- 3月 2日 第3回役員研修会▶Web研修会
- 3月 3日 令和4年度「消費者のつどい」
▶石川県消費者支援センター
- 3月 8日 第4回非常用通信機器訓練
- 3月14日 第5回企画運営委員会▶Web会議



私のおススメの一冊

『自信のない
部屋へようこそ』
(雨宮まみ)から学ぶ
自分らしい部屋

私がこの本に興味を持ったきっかけになったのは、自分の部屋の整理整頓について悩んでいたからです。

もともと読書は好きであり、好きな小説は1度読み終わった後でもいつまでも手元に置いておきたいタイプでした。新しく購入した本が、本棚にも収まりきらなくなってきて収納場所に困っていた時に、1冊の本に巡り合いました。

本書の中では1Kの部屋からより快適な家へと引っ越しを目指していき、ついにはマンション購入にまでたどり着いていく展開には驚かされました。欲しいものはどこまでも貪欲に追いかけていき、時には失敗する様子も微笑ましかったです。

福岡県から上京して都内でひとり暮らしをしながらライターとして在宅ワークを続けてきた筆者の家は、女性らしいインテリアやお客さんにくつろいでもらえるスペースも用意されていません。単に欲しいものを集めていくだけではなく、自分にとって必要なものといらないものをしっかりと見極めて思い切って捨ててしまうさぎよさが参考になりました。

この本を読んだことで読み終わった本に執着することなく、古書店で売ることができるようになりました。「断舍離」、「整理整頓」は物理的な片付けの方法とだけ捉えられてしまうことも多いかと思います。しかし本書の作者の変化はそれだけでないことを表していると思います。

自分らしい部屋について迷っている方には、是非手に取って頂きたい1冊です。

コープ北陸事業連合 尾山 由美

編集後記

北陸電力が申請している4月からの家庭向け電気料金45%の値上げが、経済産業省で審査されています。値上げ時期が、5月以降に先送りされる公算が大きくなったとの報道もされていますが、値上げ幅は大変大きく、私たちの生活に大きな影響を及ぼします。

そもそも値上げの背景は何か(ウクライナ侵攻による燃料(石炭)価格の高騰?円安によるもの?電力需給の逼迫?再生可能エネルギーの低シェア率?)から日本のエネルギー問題をあらためて学び、省エネも含めて私たちができることを考えていきたいと思っています。

専務理事 浅田 晋一